

地域リーダー育成プロジェクト第3回学び合いの場 開催のご報告

- ◇日 時：平成 29 年 9 月 14 日(木)午後 5 時 00 分～午後 6 時 30 分
- ◇会 場：榛原高校 2 階 22HR、23HR、選択教室
- ◇参加者：66 人（高校生 46 人、大人 20 人）
- ◇進行：牧之原市まちづくり協働ファシリテーター（池ヶ谷さん、絹村さん、澤島さん、武田さん）



第3回は、新学期の賑やかな雰囲気にも包まれた榛原高校の校舎にて開催しました。（会場を提供してくださった榛原高校の皆さん、ありがとうございました。）会場を3つの教室に分け、前回の振り返りをした後、今後はどんなことができそうか、席替えをしながら多様な人と対話をし、アイデアを膨らめました。

1 おさらいしよう～学び合いの場を過ごす上でのポイントと今後のスケジュールを確認～

(1) 対話を進める上での約束

- モットー：気楽に、楽しく、中身濃く
- ルール：自分ばかり話しません、頭から話しません、楽しい雰囲気を大切にします
- 大人の心得：対等に笑顔で対話する／時にアクティブに！時に謙虚に！／年齢気にせず気持ちは若く！



(2) 地域を良くする対話のための『4つのテーマ』

対話する上での4つのテーマを再確認しました。今後、これらのテーマについて対話を重ね、できることを見つけていきます。

教育環境

雇用環境

住環境

思いが実現できる地域づくり

『4つのテーマ』のイメージ



描：大石未紀さん(相良高2年)

(3) 今後のスケジュール



描：山下友梨子さん(榛原高1年)

毎月、対話を重ねていきますが、どのように進んでいくのかを共有しました。

- 9月：前回の内容を整理しよう
- 10月：もっとテーマを出そう
- 11～12月：テーマを深めよう
- 1月：フォーラム準備
- 2月：フォーラム（成果発表）
- 3月：検証

2 ワールドカフェ①

「OSTのやり方で話を聞き合ってみて、みんなの思ったことなどの感想を共有しましょう」

4～5人のグループで前回は振り返り、前回参加した人と不在だった人とで内容や思いを共有しました。

「ワールドカフェ」とは？

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、特定のテーマについて、一定時間でグループを変えながら多くの人々と対話をする話し合いの手法です。



～例えばこんな意見が出ました～

- 様々な年齢の人と話すのは大事ななあ
- 異なる価値観に気付いた
- あんまりしゃべれなかった
- 大人の「問い」がほしい！大人の視点が聞きたい
- 問いを提示する勇氣
- 今度こそ言いたい



3 ワールドカフェ②「4つのテーマについてどんな可能性があるかとあなたは思いますか？」

1人だけ残り、他のメンバーは会場内の別のグループへ自由に移動しました。冒頭で、残った1人が前の時間でそのグループで話した内容を新たにきたメンバーに共有した後、問いについて話し合いました。

4 ワールドカフェ③「4つのテーマについてどんな可能性があるかとあなたは思いますか？」

ワールドカフェ①で話したグループに戻り、最初のメンバーで話し合いました。他のグループで話した内容や感想、学び等を共有しながら対話を深めました。出た意見を少し紹介します。

雇用は自分でつくる！ 企業が参入しやすい環境 田舎過ぎる⇒未知の部分があるのでは？

英語を学ぶ 夢を見つけかなえられる教育環境 人口増⇒静かなところがいい人もいるのでは？

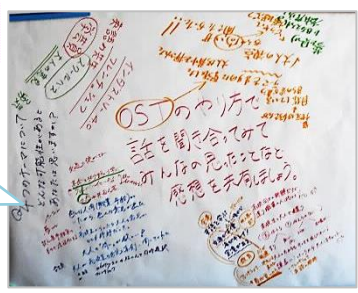
親以外の大人と少し言い合えた インダストリー4.0 AIの時代

ここでしかできないこと！ 住環境＝公共交通の充実

地元から出て経験を積みたい いい空間 悩みの根底は一緒



対話中、各テーブルの真ん中に置いてあった模造紙にメモをし、みんなの書いた言葉で溢れました。



5 全体で発表

ワールドカフェを経て「4つのテーマについての可能性」をグループでまとめ、全体に向けて発表しました。各グループの内容は以下のとおりです。(全てをお伝えできないので、参加メンバーとぜひ話してみてください！)

グループ	内容	会場
1	まず、交通から！ Ex 自動運転、電気自動車	選択教室
2	If ショッピングモールができたなら…雇用が確保できる！人が多く来てくれる！交通の便がよくなる！	
3	住環境・ショッピングモール・ホテルがない・働く場所(地元の会社)・教育環境 ⇒交通 人があつまる場所ができれば交通も発達する！！	
4	住環境が整うことで、大学などで県外などに行った人たちが戻る率が増える。 雇用環境を整えば、地元に残る人も増え、教育環境を整えば地元の若者がその地に活力を増やすことになる。よって、地元の人たちの思いを実現することが可能な地域づくりができる。	
5	住環境…新公共交通をさぐる企画⇒実現可能な企業 実証実験 近未来交通	
8	起業しろ！！	23 HR 教室
9	人が戻ってきたくなる環境とは…選択肢、都会すぎなくて住みやすい、交通手段、若者を吸い寄せせる何か	
10	電車が欲しい・移動が便利になってほしい・災害に強い環境(住環境) 想いの発信ができる仕組み・若者に起業してほしい・働き口が多いと良い(雇用)	
11	4つのテーマにある環境が良くなると人が集まる。そのためには…地域の人との交流の場、交通の便を良くする、学校や遊び場の選択肢を増やす、災害に強い町づくり	
12	ここにしかない良さ。何かを得て戻ってきてほしい。⇒雇用環境↑	
13	地域の魅力を発見しよう！ボランティア、工場見学、職業体験	22 HR 教室
15	勉強だけでなく、地域リーダーのような物があることによって、夢ができたり変わったり、地域のことを考えたり・・・未来を考えるキッカケを！！明確になる・広がる未来が見える教育環境	
16	大人…真剣に聞いてくれる 雰囲気…みんなで話せて楽しかった 考え…自分にない考え 交通…電車がナイ。飛行機を活用 思いを実現できる地域づくり…夢を見つけられる地域！叶えられる地域！	
18	いろいろな人から見た夏休み 長い方がいい？短い方がいい？	
20	家庭環境=教育 雇用について	

次回からは、第2回で5人から挙がったテーマに加え、『4つのテーマ(教育環境、雇用環境、住環境、思いが実現できる地域づくり)』についてできることや思うことをもっと挙げて深掘りしていきたいと思います。色々な皆様のご意見でつくっていただければ良いなと思います。